

Showcase Gallery

July 2023 → March 2024

横浜市民ギャラリーあざみ野 エントランスロビー

観覧無料

主催：横浜市民ギャラリーあざみ野
(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

鈴木 のぞみ SUZUKI Nozomi

ステイトメント

写真の原理を通して日常の事物に宿る潜像のような記憶の顕在化を試みています。写真は近代の産業革命とともに出現し、私たちの視覚を拡張してきたメディウムです。本展では近代に発明された視覚に纏わる装置を中心にリサーチを行い、それらの装置が持つ来歴と、かつてそこから見られていた対象について思索します。視覚装置の孕む断片的な記憶を定着した写真制作を通して、当時の人々が何を見たいと欲し、どのように見ようとしてきたのか考察します。



Photo: 平林岳志 (grasshopper)

略歴：1983年埼玉生まれ。2022年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。平成30年度ポーラ美術振興財団在外研修員としてイギリスにて研修。主なグループ展に2022年「潜在景色」アーツ前橋(群馬)、2017年「無垢と経験の写真 日本の新進作家vol.14」東京都写真美術館(東京)、2017年「Mirrors and Windows」表参道画廊(東京)、2016年「NEW VISION SAITAMA 5 - 迫り出す身体」埼玉県立近代美術館(埼玉)など。2016年「現代美術の展望VOCA展」VOCA奨励賞受賞。2022年に作品集『LIGHT OF OTHER DAYS』(rin art association)を刊行。

太田 るなシャワ OTA Luna Shawa

ステイトメント

人物の背後にある潜在意識や感情、その他果てしない「影」の可能性に押しつぶされつつ感心しながら絵を描いていました。最近「時間」というまた別の次元を認識し、制作範囲がさらに広がりました。過去の見方を変えて真実と虚偽、冒涇と敬意、リサイクルとコピー、スーパーマーケットと聖域の境界を曖昧にして楽しんでいます。



略歴：1996年福岡生まれ、ブリュッセル育ち。高校卒業後イタリアへ移る。2021年ウルビーノ美術大学版画科修士課程修了。現在は日本を拠点に人物画をはじめとした絵画制作に励む。主なグループ展に2022年「Self Introduction」高架下スタジオSite-Aギャラリー(横浜)、2021年「Collective Exhibition」Sb34 The Pool(ベルギー)、2019年「Nuova Cenere」Artigianarte(イタリア)、個展に2019年「Waltz」Nascondiglio(イタリア)等。2022年より「黄金町アーティストインレジデンス」レジデント・アーティスト。

進藤 詩子 SHINDO Utako

ステイトメント

日常の風景に潜在する「翻訳不可能なもの」を一時的に現し、そして鑑賞者のうちに詩的な経験と内省を促すような、美術・造形作品の在り様を探究しています。近年は、水彩・墨を用いた抽象絵画や、轆轤挽きの抽象陶芸の制作に取り組んでいます。どちらも「線、陰影、呼吸」といった要素と「中心をとる(軸を合わせる)」工程が繰り返されますが、それらが「揺らぐ」こととの関ぎ合いから生まれるイメージや形は、時に、普段の言葉では捉えきれない何かと重なるようで、私自身を驚かせます。



Photo: Benjamin Hosking

略歴：1980年東京生まれ。制作と研究を両輪に国内外で活動。2017年メルボルン大学大学院ヴィクトリアン・カレッジ・オブ・ジ・アーツ付属ザ・センター・フォー・アイディアズ博士課程修了。2018年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員。主な個展に2022年「the night falls and the day breaks」J5.gallery(アメリカ)など。滞在制作に2020年遊工房アートスペース(東京)、2013年BankART NYK(横浜)など。企画・出展に2010-12年「内在の風景」小山市立車屋美術館(栃木)／国際交流基金ギャラリー(オーストラリア)など。http://www.utakoshindo.info/

WORK-SHOP

鈴木 のぞみ展 関連ワークショップ

日常にある穴で写真を撮ってみよう

日用品にある穴が映し出している光の像を、印画紙に定着させるワークショップです。私たちの暮らしには、さまざまな用途やデザイン、あるいは欠損から穴が空いている物があります。それらの穴でピンホール写真を撮影することによって、私たちを見つめている物のまなざしを可視化します。この穴で撮影してみたいと思う物があれば、ぜひお持ちください。

2023年7月29日(土) 10:00～16:00(昼休あり)

【講師】鈴木 のぞみ

【定員】中学生以上12名(応募者多数の場合、抽選)

【参加費】2,500円(材料費込)

【申込締切】2023年7月7日(金) 必着

【申込方法】直接来館(横浜市民ギャラリーあざみ野2階事務室)またはホームページ(右記QRコード)よりお申し込みください。



横浜市民ギャラリーあざみ野

開館時間 9:00-21:00(毎月第4月曜日休館)

※最新の開館状況につきましては、横浜市民ギャラリーあざみ野のホームページをご確認ください。

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3

アートフォーラムあざみ野内

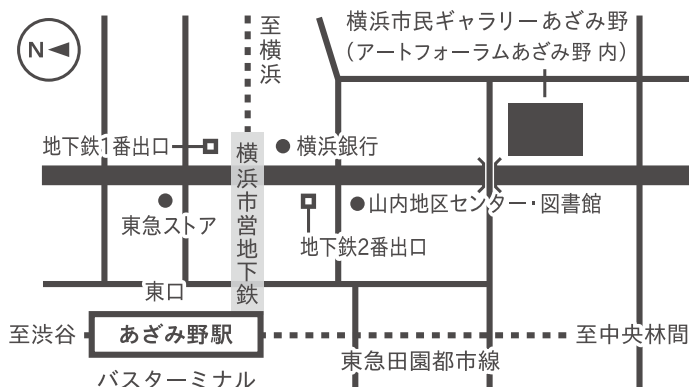
TEL:045-910-5656 / FAX:045-910-5674

Email: info@artazamino.jp URL: https://artazamino.jp/

【最寄り駅】東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分

横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分

【駐車場】27台(有料・予約制) TEL:045-914-5910



ショーケース
ギャラリーは
3つのシリーズの
展示を行います！

1 アーティスト ×
横浜市所蔵カメラ・写真コレクション

2 黄金町エリアマネジメントセンター
連携企画

3 シリーズ 陶の表現

1 アーティスト × 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション 鈴木のぞみ展

2023/7/15sat→9/18mon-hol

7月24日(月)、8月28日(月)休館

横浜市民ギャラリーあざみ野では、約12,000件に及ぶ横浜市所蔵カメラ・写真コレクションを収蔵しています。7～9月のショーケースギャラリーでは、本コレクションとアーティストのコラボレーションによる展示を行います。本展では、事物の持つ記憶をテーマに制作する鈴木のぞみが、収蔵品に含まれる19～20世紀初頭の視覚装置と写真に着想を得て制作した新作を展示します。



The Rings of Saturn : 舷窓—アイリッシュ海／2020年／イギリス製の舷窓、写真乳剤

Photo: 木暮伸也



ARCHIVE／2020年／エッチング

黄金町エリアマネジメントセンター 連携企画

2 太田るなシャワ展

2023/9/23sat-hol→12/10sun

9月25日(月)、10月23日(月)、11月27日(月)休館

NPO法人黄金町エリアマネジメントセンターは、横浜市の初音町、黄金町、日ノ出町エリアにて、地域や様々な機関と協力しながらアートによるまちづくりを進め、国内外の様々なアーティストに滞在制作の場を提供しています。9～12月のショーケースギャラリーでは黄金町界隈で活動するアーティストをご紹介します。本年は、ドローイングや版画、パフォーマンスを通じて、記憶やアーカイブ、複製をテーマに制作する太田るなシャワの作品を展示します。

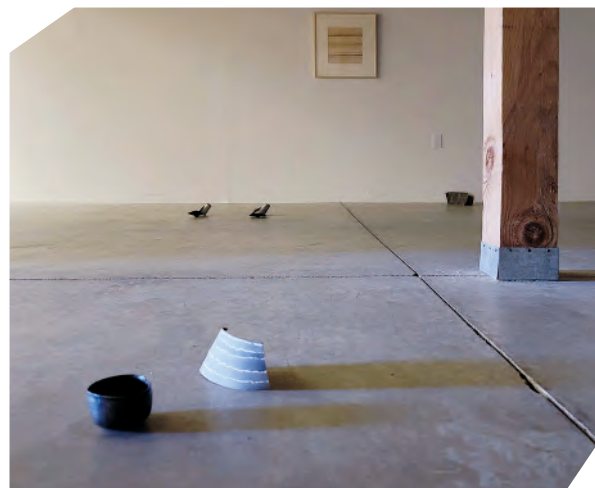
シリーズ 陶の表現

3 進藤詩子展

2024/1/6sat→3/17sun

1月22日(月)、2月26日(月)休館

横浜市民ギャラリーあざみ野のアトリエには陶芸窯があり、ワークショップや作品制作等に活用されてきました。この活動を踏まえ、2021年より陶の作品を制作する新進作家を紹介するシリーズ展を開催しています。本年は、日常に潜む「翻訳不可能なもの」に着目し、ドローイングによる抽象表現を出発点に、近年、陶を使ったインスタレーションに取り組む進藤詩子の新作を展示します。



個展「the night falls and the day breaks」／2022年／5.galleryでの展示風景